

<商学部 一般選抜>

【世界史】

●問題冊子8ページ：設問Ⅳ 問題文

(誤) ~最高指令官にもなった…

(正) ~最高司令官にもなった…

●問題冊子9ページ：設問Ⅳ 問題文

(誤) ~、2008年に…

(正) ~、2009年に…

採点について

このことによる解答への影響はないものと判断し、採点において特別な措置は講じないことといたします。

以上

2021年度
世 界 史
(問 題)

〈R03153416〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～9ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良	○ 悪	○ 悪
マークを消す時	○ 良	○ 悪	○ 悪

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

	万	千	百	十	一
(例) 3825番⇒	3	8	2	5	

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

I 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

古代ローマ帝国では、帝国の盛衰を反映するかのよう^Aに貨幣の量目¹や品位²が変動した。アウグストゥスは貨幣体系を整え、例えば金貨については1ポンド³の金から40～42枚の純金の金貨が^B鑄造されるとした。五賢帝の時代に支配した^Cダキアは金鉱に恵まれるなど、帝国の拡大は^D鉱脈の獲得にもつながった。しかし帝国の拡大はやがて限界に達し、^E国境防衛に要する軍事費の増大は次第に財政を^F圧迫した。

3世紀、帝国の貨幣の品位は急速に低下した。カラカラ帝は^G勅令により帝国の全自由民にローマ市民権を与えたことで知られるが、その治世に品位がおよそ50%の銀貨を鑄造させた。軍人皇帝の時代に帝国は未曾有の危機を迎え、260年の^Hの戦いではローマ皇帝^Iがササン朝の捕虜となる事態も生じた。貨幣の品位は低下し、軍人皇帝時代末期に鑄造された銀貨にはわずかな銀しか含まれていなかった。専制的な政治体制をしいた^Jディオクレティアヌス帝により貨幣体系の改革が行われたが、新たに鑄造された高品位の貨幣が広く流通することは困難であった。

4世紀に即位した^Kコンスタンティヌス帝は新たな^L金貨を鑄造させ、その量目を1ポンドの金から72枚とした。この金貨はローマ帝国の東西分裂後も東ローマ帝国の多くの皇帝に重視され、およそ7世紀にわたり高い品位が維持された。安定した価値をもつ金貨は東ローマ帝国の貨幣経済を長らく支えた。

注) 1. 量目：重さ

2. 品位：ここでは金貨や銀貨における金や銀の含有率

3. 1ローマポンド

問A 下線部Aに関連して、アウグストゥスの帝政時代に活躍した人物を選べ。

1. タキトゥス 2. リウィウス 3. ポリビオス 4. キケロ

問B 下線部Bに関連して、イギリスに現存しユネスコの世界遺産に登録されている長城を建設した五賢帝のひとり^Bを次から選べ。

1. ネルウァ 2. トラヤヌス 3. ハドリアヌス 4. マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス

問C 下線部Cに関連して、おおむねダキアにあたる地域の現在の国を選べ。

1. ルーマニア 2. アルメニア 3. リトアニア 4. モーリタニア

問D ^Dにあてはまる言葉を選べ。

1. アウレリウス 2. アントニヌス 3. マクリヌス 4. マルクス

問E ^Eにあてはまる言葉を選べ。

1. アルベラ 2. エデッサ 3. マンジケルト 4. カーデイシーヤ

問F ^Fにあてはまる人物名を選べ。

1. ガリエヌス 2. バルビヌス 3. セプティミウス＝セウェルス 4. ウァレリアヌス

問G 下線部Gに関連して、ササン朝について最も適当なものを選べ。

1. アルダシール1世がバクトリア王国を滅ぼして開いた。
2. ホスロー1世は東ローマ皇帝ヘラクレイオス1世とたびたび抗争した。
3. ヤズデギルド3世は正統カリフのアリーが率いるイスラーム軍に破れた。
4. ホスロー2世のとき支配領域は最大となり、現在のエジプトに及んだ。

問H 下線部Hに関連して、ディオクレティアヌス帝について最も適当なものを選べ。

1. 皇帝自身をマルス神の体現者として神格化した。
2. テトラルキアのもと、自らはローマを都とする帝国西方の正帝となった。
3. 小麦などの最高価格を定めた勅令を發布した。
4. カピタテオ＝ユガテオ制を廃止した。

問I 下線部Iに関連して、コンスタンティヌス帝の治世の期間の説明として最も適当なものを選べ。

1. アウグスティヌスが『神の国』を著した。
2. ニケーアの公会議でキリスト教アリウス派が正統とされた。
3. ミラノ勅令によりキリスト教が唯一の国教とされた。
4. リキニウス帝はキリスト教の容認から弾圧に転じた。

問J 下線部Jに関連して、コンスタンティヌス帝が新たに鑄造を始めた金貨の名称を選べ。

1. アウレウス
2. アントニアヌス
3. ヒュペルピュロン
4. ソリドゥス

問K 下線部Kに関連して、テオドシウス帝没後の西ローマ帝国最初の皇帝は誰か。

1. ホノリウス
2. オドアケル
3. アルカディウス
4. ロムルス＝アウグストゥルス

問L 下線部Lに関連して、以下の出来事を行った順に並べたとき3番目になるものを選べ。

1. バシレイオス2世による第一次ブルガリア帝国の征服
2. ユスティニアヌス帝のもとの『ローマ法大全』の編纂
3. アレクシオス1世によるプロノイア制の確立
4. レオン3世による聖像崇拝の禁止

II 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

朱熹（1130-1200）の主要な業績の一つは、北宋時代以降の様々な学派を、一つの大きな学術思想の潮流として提示したことである。ここで注意すべきは、朱熹はあくまで彼の視点からの提示を行なったのであり、個々の学者・学説の評価には、そのバイアスがかかっている点である。その一方で、君臣・父子の間での道徳を絶対視し、とくに臣下として守るべき節操や本分を重視する姿勢は、欧陽脩・司馬光などの北宋時代の学者たちの所説において一貫してみられ、朱熹もその『資治通鑑綱目』で強調するなど、明らかな議論の継続性もみられる。こうした宋代の学者・思想家たちは、儒学以外の思想・宗教を徹底的に排除していたわけでは決してなく、とくに私生活においては、仏教や道教などの熱心な信者でもあった。ある意味、儒学思想はつねに他の思想・宗教と並存していたのであり、それらの影響を受けつつ、時代とともに改革されていった。明代の王守仁（王陽明）は、正統教学としての地位を確立していた、朱熹によって体系化された学説（朱子学）が、外面的事物の解釈にあまりにも偏っているとし、新たな指針を示して幅広い支持を得た。朱子学的な学説に対する批判の一部はやがて急進化してゆき、人間生来の心を「童心」と呼び、それに至上の価値を置く李贄（李卓吾）などは、危険思想家として獄死するに至る。こうした中、朱子学・陽明学を批判し、より具体的かつ実用的な科学・技術を論じる学問も発展してゆくこととなる。

問A 下線部Aについて、朱熹の著作として正しいものを一つ選べ。

1. 『日知録』
2. 『四書集注』
3. 『太極図説』
4. 『資治通鑑』

問B 下線部Bについて、学派・学者に関する正しい説明はどれか。

1. 欧陽脩は道徳を重視する歴史書の編纂を行い、『宋史』を著した。
2. 靖康の変により没落した家系に生まれた周敦頤は、朱熹と交遊して多大な影響を与えた。
3. 陸九淵（陸象山）は、知的努力の積み重ねを重視する朱熹を批判し、己の心を養い天地と一体化することを重んじた。
4. 蘇軾は、思想的には対立した王安石の新法を支持した。

問C 下線部Cに関連して、朱熹は北宋の衰退を招いたとして、独自の学術的議論を行った学者であり政治家の王安石とその政策を批判したが、王安石の政策の説明として最も適切なものを一つ選べ。

1. 政府が各地の特産物などを買い上げ、それを不足地に転売し、物価の安定と物資流通の円滑化を目指した。
2. 大商人に低利で融資を行い、その利益を増大させることで、経済の活性化をはかった。
3. 従来、希望者に給料を支給して行わせていた徴税業務などを、納税者の中から毎年人を選んで負担させ、経費の節約をはかった。
4. 馬の供給が少ない南方中国（華南）において、戸の資産に応じて1～2頭の馬を養わせ、軍用などに充てようとした。

問D 下線部Dについて、欧陽脩・司馬光・朱熹はこうした大義名分論・正統論を歴史著述に反映させたが、その際に欧陽脩・司馬光らが基づいた古典は、次のうちどれか。

1. 『戦国策』
2. 『老子』
3. 『荘子』
4. 『春秋』

問E 下線部Eについて、『資治通鑑』の簡略版である『資治通鑑綱目』は、おそらく朱熹の意図に反して、科挙の受験参考書として、さらなる簡略版が出版されてゆく。その背景には、宋代以降における木版印刷による商業出版の盛行と、モンゴル支配下(元代)の科挙における朱子学の正統化があった。次の中から、モンゴル帝国(元朝)時代の中国における学術・科学技術・文学に関して最も適切なものを一つ選べ。

1. 郭守敬はチンギス=ハンに仕え、授時暦を作成した。
2. 現在みる形での『西遊記』が完成された。
3. 旧来の大運河に加え、会通河などの新運河が開削された。
4. コバルト顔料がイスラーム世界にもたらされ、西アジアでの染付の発展に寄与した。

問F 下線部Fについて、阿弥陀仏信仰による極楽浄土への往生を説き、北宋時代の中国で各種の念仏結社が生まれ、官民間わが流行した仏教の一派は、次のうちどれか。

1. 真言宗
2. 禪宗
3. 天台宗
4. 浄土宗

問G 下線部Gにつき、北宋滅亡後の華北で勃興し、現在に至るまで中国における有力な道教宗派である全真教の開祖を選べ。

1. 寇謙之
2. 王重陽
3. 張天師
4. 邱処機

問H 下線部Hに関して、朱子学は東アジアに拡散し、とくに朝鮮王朝においては正統教学となり、やがてそこから発展して朝鮮性理学が成立する。こうした中、儒学を奨励し、訓民正音を制定するなどした朝鮮国王を選べ。

1. 成宗
2. 正祖
3. 定宗
4. 世宗

問I 下線部Iに関して、この人物が生きていた時代に起きたことを一つ選べ。

1. 一条鞭法が施行された。
2. ポルトガルがマラッカを陥落させた。
3. アルタン=ハーンが北京を包囲した。
4. 種子島に鉄砲が伝来した。

問J 下線部Jに関して、いわゆる「陽明学」が提唱していない概念を一つ選べ。

1. 性即理
2. 知行合一
3. 致良知
4. 心即理

問K 下線部Kについて、この人物が生きていた時代に中国で活動し、この人物とも交遊したとされるイエズス会士を一人選べ。

1. アダム=シャルル
2. アレッサンドロ=ヴァリニャーノ
3. マテオ=リッチ
4. フェルピースト

問L 下線部Lについて、明代末期のこうした学問的潮流の代表作の一つである『本草綱目』の著者を選べ。

1. 徐光啓
2. 李時珍
3. 宋応星
4. 董其昌

Ⅲ 次の問題を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

中世イギリスにおいて、プランタジネット朝のジョン王はフランス国王 **B** と戦い、フランスにあった領土の大半を失ってしまった。^A さらにジョンはローマ教皇 **C** と争い破門された。この結果、財政窮乏に陥り重税を課したので貴族勢力は団結して王権に「大憲章」(マグナ=カルタ)を認めさせ、国王といえども高位聖職者、大貴族からなる会議の承認なくして新しい税を課することができなくなった。^D 「大憲章」制定後のイギリスは次第に立憲政治の道を進むこととなる。

16世紀に入るとイギリスはテューダー朝のもと、^E 宗教改革が推進された。この宗教政策も議会の立法に基づいていたことが特徴であった。しかし、1603年スコットランド王家であったステュアート家が、イングランド国王も兼ね(同君連合) ステュアート朝を立てると^G 状況は変化した。ジェームズ1世、^H ついでジェームズの子チャールズ1世の治世に入ると^I 議会との関係は悪化し、ついに^J イギリス革命(ピューリタン革命, 1640年～1660年)が勃発した。革命の雄クロムウェルは共和政を樹立したが、1658年彼が亡くなると王政による国内秩序の安定を求める声が強まり、1660年チャールズ2世による^K 王政復古体制が復活した。しかし、チャールズの王弟ジェームズが1685年に即位すると、カトリック擁護を進めたため、^L 名誉革命が勃発した。名誉革命と前後してイギリスでは銀行、金融業が勃興し、またこの時期は「英仏第二次百年戦争」と呼ばれる長い戦争の時代の始まりでもあった。したがって、この名誉革命後のイギリスを「財政軍事国家」と呼ぶ歴史家も多い。

問A 下線部Aに関連して、プランタジネット朝時代に起こったことはどれか。

1. 国王直属の裁判所として星室庁裁判所が整備された。
2. ドゥームズデー=ブックの編纂が始まった。
3. バラ戦争が始まった。
4. ワット=タイラーの乱が起こった。

問B **B** に当てはまる人名はどれか。

1. フィリップ2世
2. フィリップ4世
3. シャルル4世
4. ルイ9世

問C **C** に当てはまる人名はどれか。

1. ボニファティウス8世
2. インノケンティウス3世
3. グレゴリウス7世
4. グレゴリウス9世

問D 下線部Dに関連して、「大憲章」制定以降起こった歴史的な事件で、古い順から3番目に当たるものはどれか。

1. シモン=ド=モンフォールが、貴族を率いて反乱を起こした。
2. エドワード1世が、模範議会を招集した。
3. エドワード3世が、フランス王位継承権を要求した。
4. ランカスター派のヘンリが、ヘンリ7世として即位した。

問E 下線部Eに関連して、テューダー朝時代に起こった出来事はどれか。

1. チョーサーが、イギリス=ルネサンスの先駆的詩人として活躍した。
2. ウィクリフが、聖書の英訳を行った。
3. デフォーが、新聞、小説の執筆で活躍した。
4. エラスムスが、イギリスに渡り人文主義者との交流を深めた。

問F 下線部Fに関連して、イギリス宗教改革について正しい説明はどれか。

1. エドワード6世は、1549年に一般祈禱書を制定した。
2. モアは、エリザベス1世の宗教政策を批判し、死刑に処された。
3. ヘンリ8世は、統一法によってイギリス国教会の確立を図った。
4. メアリ1世は、カトリックであったがプロテスタントとの平和共存を進めた。

問G 下線部Gに関連して、ステュアート朝時代に起こった事柄で誤った説明はどれか。

1. フランシス=ベーコンは、主著『新オルガヌム』（1620年）において経験的方法を重視し、演繹法に対し帰納法を提唱した。
2. バンヤンの著した代表作『天路歷程』（1678年、1684年）は、ピューリタンの信仰を表した寓意物語である。
3. ハーヴェーは、主著『海洋自由論』（1609年）の中で国際法理論を発展させた。
4. ニュートンは、主著『プリンキピア』（1687年）の中で万有引力の法則など古典的物理学を体系化した。

問H 下線部Hに関連して、ジェームズ1世の治世について誤った説明はどれか。

1. ジェームズ1世の支援によって出版された『欽定英訳聖書』は、英語訳聖書の規範とされた。
2. ジェームズ1世の発行した特許状によって、北米植民地ジェームズタウンが作られた。
3. ジェームズ1世は、アジアに関心を持ち徳川家康に書簡と贈り物を贈った。
4. ジェームズ1世は、特権商人の独占を批判し中小商人の自由な経済活動を保護した。

問I 下線部Iに関連して、チャールズ1世について誤った説明はどれか。

1. チャールズ1世は、権利の請願の審議に介入しその成立を阻止した。
2. チャールズ1世は、1640年短期議會を開会したが、議會側の強い反発に遭いすぐ解散した。
3. ピューリタン革命においてチャールズ1世を支持した王党派は、イングランド西部、北部を中心に活動していた。
4. チャールズ1世は、1649年議會派によって有罪とされ処刑された。

問J 下線部Jに関連して、イギリス革命（ピューリタン革命）の時代に起こった出来事で、年代順で古いものから3番目はどれか。

1. 第一次イギリス=オランダ（英蘭）戦争が勃発した。
2. 長期議會が招集された。
3. 議會派の軍隊「ニューモデル軍」が結成された。
4. 王党派と議會派の間で内戦が勃発した。

問K 下線部Kに関連して、チャールズ2世の治世での出来事について、正しい説明はどれか。

1. トーリ党は、議會の権利を支持し、商工業者、非国教徒などを主な支持母体とした。
2. チャールズ2世と議會は協力して、反カトリック立法である審査法を制定した。
3. イギリスは、オランダの北米植民地であったニューアムステルダムを奪い、ニューヨークと改名した。
4. 市民の公共的活動の場であったコーヒーハウスは、チャールズ2世の弾圧政策により17世紀末以降急速に衰退した。

問L 下線部Lに関連して、名誉革命に始まり「財政軍事国家」の出現にいたる17世紀後半～18世紀初めの出来事で、年代順で古い順から3番目はどれか。

1. イギリス議会在が、寛容法を制定した
2. イギリス議会在が、権利の宣言を議決した。
3. イギリスが、スペイン継承戦争に参戦した。
4. イングランド銀行が、創設された。

Ⅳ 次の文章を読み、空欄 1 ～ 13 は、記述解答用紙の所定欄に適切な語句を記入せよ。また、下線部14に関して、同党は1960年代後半に民主党支持者の多かったアメリカ南部において多くの支持者を増やしたが、その背景や事情について、公民権運動および公民権法が成立したこととの関係から100字以内で説明しなさい。なお、句読点・算用数字も1字とする。

1518年、スペイン国王の 1 がその臣下の1人に対して黒人奴隷を植民地に運んでよい旨の独占的な許可状を与えて以降、同国は、アメリカ大陸の植民地における労働力確保のためにポルトガル、オランダ、フランスなどの商人に対して 2 と呼ばれる奴隷供給権（契約）を数多く発するようになり、そうした者らに奴隷の供給を担わせるようになった。1713年の 3 条約によって 2 に関する権限はイギリスに与えられ、同国は、当該権限を政府から独占的に譲渡された南海会社（The South Sea Company）などの活動を介して、奴隷貿易における重要な役割を果たすようになっていった。

北米大陸では、1619年になって最初の黒人奴隷がもたらされたといわれ、それ以降、黒人奴隷はタバコ生産などにおいて主要な労働力となっていった。その後、18世紀前半にかけて、各植民地において奴隷に関する法制度が確立されていった。たとえば、最初に奴隷がもたらされたとされる 4 植民地では、1662年に黒人女性の身分が奴隷であればその子供もまた奴隷となる旨の法律が制定され、1705年には奴隷を財産とする旨の法律が制定されるなどした。

他方、アメリカでは、独立戦争の頃には北部の一部の州で奴隷制を廃止すべきとの考え方が一定の広まりをみせていた。1776年に採択された独立宣言の起草に際しては、当初の案には奴隷制度やイギリスによる奴隷貿易を否定する内容が含まれていたが、ニューイングランド植民地群の1つであるマサチューセッツ湾植民地（Massachusetts Bay Colony）の代表である 5 が主導した起草委員会および第二次大陸会議での議論を経たのち、最終的にそうした内容は削除された。1787年に採択された合衆国憲法でも、各州から下院議員に送り出す員数と直接税の配分の計算において、自由人と黒人奴隷およびインディアンとの間では平等な扱いがなされていなかった。

奴隷制度を巡っては、それに反対する北部と州の自治を重要視する南部との間で対立が続いたが、1854年にミズーリ協定を反故にする 6 が成立したことを契機として奴隷制度に反対する勢力が結集し、 7 党と自由土地党の党員を吸収する形で共和¹⁴党が結成された。 7 党の出身者であるリンカンが共和党から大統領に選出された後には北部と南部の間の対立が決定的となって南北戦争が起こったが、1865年に南軍が北軍に降伏する形で同戦争が終結した後、アメリカ合衆国として奴隷制の廃止をうたった憲法修正第 8 条が批准され、これをもって法制上奴隷は一応の解放をみたとされる。しかし、その後も黒人差別は継続し、とくに南部の州では、投票税を課したり、識字率・理解度テストによって黒人に対して実質的に選挙権を制限したり、病院・学校・図書館といった公共施設について、白人とそれ以外の人種の者を分ける、といったことが行われた。それらのことを定めた一連の法律は、白人のパフォーマーが顔を黒く塗るなどして障害を抱えた黒人に扮し、ショーの中で歌った歌になぞらえて 9 法と呼ばれた。1883年の連邦最高裁判所判決では、公共施設における黒人の人種差別について、それが直ちに憲法修正第 8 条違反にはならないとし、さらに1896年のプレッシー対ファーグソン（Plessy v. Ferguson）事件においても、連邦最高裁判所がそれぞれの人種に提供される公共施設等の設備が同等なものである限り、分離はされていても平等（Separate but equal）であって、違憲ではないことを確認したこともあり、 9 法は各地で維持され続け、黒人に対する実質的な差別は継続されていくことになった。

1954年になり、連邦最高裁判所は、いわゆる 10 判決において、公立学校における人種隔離はそれによって黒人の子供が平等に教育を受ける機会が実質的に損なわれているとし、違憲である旨の判示を行った。この判決をもって黒人に対する法律上の差別はなくなったともいわれたが、その後も実質的な差別はアメリカ社会のいたるところで継続的にみられていった。1957年には、アーカンソー州で、それまで白人しか入学が許されていなかった州立高校に9人の黒人学生が入学することに対し、州知事がそれを妨害したことから、当時、共和党選出の大統領であり、1950年に 11 軍の最高指令官にもなった軍人出身のアイゼンハワーが、陸軍の空挺師団を派遣し、入学する黒人学生を護衛させるといった事件なども起こった。その後、1960年代にかけて公民権運動はさらなる隆盛を迎え、1964年には教育、公共施設の利用や投票権行使の際の差別、さらには、民間部門の利用者による人種や皮膚の色などによる雇用関係上の差別などを禁じた公民権法（Civil Rights Act）が成立し、立法上の措置も講じられた。

2000年代に入ってから、2008年に **12** がアフリカ系アメリカ人初の大統領に就任し、黒人差別の歴史において大きな転換点を迎えたともいわれた。しかし、2012年2月には10代のアフリカ系アメリカ人が自警団員に殺害され、同自警団員が翌年に無罪判決を受けたことに端を発する形で、ソーシャルメディアを通じて広がった、 **13** とよばれる黒人差別反対運動が起こった。2020年には、ミネアポリスにおいて警察官による黒人殺害事件が起こったことを受けて、その運動はアメリカ各地で再燃し、同国のみならず世界的にも注目を集めた。

[以 下 余 白]

